

一般質問



渡部 茂 議員 (自民)

### シティプロモーションについて

①今年度、シティプロモーションのコンセプトを設定し、既存事業を展開しながら戦略プランを策定することだが、今ここで区としてシティプロモーションをかける意義は。②品川区に合ったシティプロモーションの方向性は。③取り組みについて今後のスケジュールは。④地域イメージ、地域資源アンケートから見た課題は。⑤各事業計画との連携や整合性、各事業部等との連携の仕組みづくりは。

**企画部長** ①②オリンピック開催決定等を好機と捉え、取り組むこととした。地域イメージの向上で、観光客や転入者を増やし、区民にも品川区に誇りと愛着を持っていただくことが狙いだ。長期的には住み続けたいまち品川の実現だと考える。③様々な方法で意見聴取を行い、戦略プランを策定する。④地域資源の知名度向上のためには、区外に向けたメディアの活用や情報発信の工夫等が必要と考

ている。⑤各事業計画とも整合性を持ち、各事業部と連携を密にとりながら進めていく。

### 子育て支援について

①子ども・子育て支援新制度による区の役割は。②新制度移行に際し、保護者への周知はどのように行っていくのか。③新制度移行に伴い、幼稚園、保育園の保育料が大きく変わることはあるのか。④区内私立幼稚園への新制度移行調査について⑦回答期限を設けているのか。①既に園から方針が示されているところはあるのか。⑤個人立の私立幼稚園に対し、移行するしないにかかわらず、現状同様の支援を行っていくべきでは。

**区長** ①区は実施主体として子ども・子育て支援事業計画を策定し、幼児教育、保育地域の子ども・子育て支援を総合的に推進していく。②在園児は各施設を通じて、新入園児は説明会で説明するとともに、広報等で周知予定だ。③保護者の所得に応じた負担が原則となり、その額は国の水準を限度に区が定めるもので、現在検討中だ。④⑦7月11日だ。⑤6月17日時点で今後の方針を明示した園はない。⑥現行の私学助成と新制度とのバランス、都の助成等を踏まえ現在検討している。

### 品川の教育について

①中学校では、高校や大学進学、将来の就職に向けてどのような指導がされているのか。②小中一貫教育制度の⑦文科省における審議状況は。①今年度の品川の取り組みは。③本年度よりICT活用が始まるが⑦メリットや効果は。④活用に向けたルール設定は。⑤今年の配置準備状況は。⑥教員への対策は。④タブレット端末について⑦どのような形で活用するのか。①モデル校での検証方法は。②今後の全校配置計画は。⑤低学年生の感性を磨く学習方法は。⑥いわゆる教育委員会制度の改革について⑦現在、区に何らかの通達、指示がなされているのか。①どのような手続を経て新制度に移行するのか。

**教育長** ①将来を見据えた進路指導を行っている。②⑦報道等によると、検討を開始する方針で、来年度学校教育法に小中一貫教育学校が学校として追加されることになる。①英語教育やICT活用等により、力強く生き抜く子どもたちの育成をめざす。③⑦学習意欲向上につながる。④⑦学校ICT化検討委員会等で検討している。⑤推進校10校の全児童・生徒に1人1台、特別支援学級には2人1台を配置する。⑥⑦専門業者による操作説明会等を実施する。④⑦自学自習の習慣づけに活用できると考える。①⑦学習習慣定着度アンケート等で検証する。②⑦導入成果を見極め検討していく。⑤⑦生活科で、自然や多くの人とかわり、実体験を積み重ねることで感性を磨くことにつなげる。

**総務部長** ⑥⑦現段階で通達等は届いていない。①⑦区長と教育委員の懇談会で連携強化に努めている。関係条例の整備等必要な手続を行い、着実な実施につなげる。



石田 伸 議員 (民・改)

### 五反田まぢづくりについて

①TOCビル建て替えについて⑦現状と今後の見通しは。①貸し付け後の跡地活用は。②西五反田二丁目地区のまぢづくりについて⑦大区化促進に向けたアンケートの反応は。①今後の展開は。③中央環状品川線について⑦工事の進捗状況は。①五反田地域の交通環境の変化への所見は。②(仮称)首都高速品川線脱硝装置等管理委員会に区長や地元住民も参加しては。④五反田にぎわいゾーンについて⑦ゆづりぼとはなくなる。①⑦現状等は。①⑦鉄道会社を巻き込んだ区の取り組みは。

**区長** ①⑦これから仮設建物の工事に入る予定で、着工は秋頃と聞いている。①十分検討した上で案を示したい。②⑦多くの方が関心を持っていくことが明らかになった。④⑦区の考えをまとめたプランを周知し、地区の方々と魅力的なまぢづくりに取り組む。③⑦都によると、平成27年3月末の完成に向け取り組んでいるとのことだ。①⑦都は、渋滞緩和により環境も改善されると考えている。区としても今後の推移を確認していく。

### 人口減少時代への対策について

①第二、三子支援について⑦取り組みは。①今後の支援策は。②町会や消防団への加入者を増やす支援策として、インセンティブ制度の導入を。③今後の人口推移などを見きわめ、施設のあり方も含めた検討が必要と考えるが⑦年齢や使用目的等で利用者が限定された施設を今後どのように活用するのか。①⑦特養ホームの建設について今後の対策は。⑦時代の需要に対応できる施設が必要では。④⑦区が主導する会議について、若者の参加を増やしていくべきでは。

**子ども未来事業部長** ①⑦保育園に在園する第二子以降の保育料軽減策等を行っている。①⑦総合的に対策を進めていく。②⑦慎重に調査研究していく。③⑦建設当初に期待された役割を果たしているか等を検証し、公共施設有効活用プランの考えをもとに活用方法を検討していく。①⑦要介護状態でも区内で生活できる環境を整備するため、3施設を開設計画だ。今後こうした

対象となりました。さらに平成24年度は約65%の方が対象となるよう所得制限の緩和を行いました。平成26年度においては約70%の方が対象となるよう所得制限の緩和を図り、今後も十分な配慮を行ってまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(2) 私立幼稚園への更なる支援・助成金増額および私立幼稚園母の会連合会への助成について  
私立幼稚園の経営の安定化を図ることを目的とした私立幼稚園への直接助成金は、区の財政状況を勘案しながら、実態に沿うよう制度の見直しを行い、幼児教育推進のため、助成制度の創設や増額を図って参りました。

平成25年度には私立幼稚園協会への補助金を450万から507万円に増額したところではありますが、私立幼稚園母の会連合会への直接の助成は難しい状況です。現状の幼稚園協会への補助金を母の会連合会の事業費支援にも活用していただくなど、創意工夫していただき、私立幼稚園の振興に役立てていただきたいと思います。

考えを基本に施策を展開していく。②⑦ニーズへの対応と有効活用を進めていく。④⑦若者の参加を促す工夫に努める。

**教育について**

①⑦コミュニティスクールの導入を。②⑦体育館や運動場でもICTの整備が必要では。③⑦予習・復習でのICT活用の考えは。④⑦経済活動が体験できるスチューデント・シティの区のプースになぜ職員の派遣がないのか。⑤⑦全国大会に出場するような子どもを支援する選手育成基金の創設を。

**教育次長** ①⑦平成14年度より導入した外部評価制度は、コミュニティスクールにおける学校運営協議会とほぼ同様な役割を果たしている。②⑦体育館での整備は進めているが、

校庭については考えていない。③⑦自学自習の習慣づけに活用できると考えている。④⑦教員等を派遣していたが、土曜日授業の実施に伴い難しくなった。改めて対応を検討する。

**地域振興事業部長** ⑤⑦基金を設置する具体的計画はない。

**ペット(犬)について**

①⑦ドッグランの整備を。②⑦飼い主のマナー教室を実施しては。③⑦散歩する飼い主の協力で地域の見守りをする(仮称)ドッグガードの結成を。

**品川区保健所長** ①⑦狭小な公園が多く、整備は困難だ。②⑦飼い主への啓発活動として、マナー講習会を定期的に開催している。③⑦パトロールを行う自主的防犯活動団体もあり、制度の周知に努める。